

第6学年 外国語科学習指導案

ろ組 男子16名 女子17名 計33名
指導者 J T E 阿久根 崇
A L T Christopher Sneller

1 単元 “What Can You Do?” ～何ができる？ぼく、わたしの特技～

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、「Hello World.」～鹿児島の特産品を紹介しよう～でのブルガリアやシリア、アメリカ、オーストラリア、中国などの国際交流員の方との交流を通して、既習の英語を用いて鹿児島の特産品を相手に伝えたり、相手の国の特徴を理解したりする楽しさを味わい、もっと英語で話せるようになりたいと願うようになってきている。

そこで、本単元では、友達や台北教育大学実習生と互いの特技(できること)を紹介し合う活動を通して、簡単な一般動詞や助動詞 can を用いた英語を身に付け、相手も同様にできるのか尋ねたり、相手の発表に対して感想を伝えたりする等、相手意識を基に工夫しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとしている。また、そのために必要な台北教育大実習生とのインターネット交流を通して、台湾文化を体験的に理解したりすることもねらいとしている。

なお、ここでの学習は、日本や世界で活躍している人物を紹介し合う「He is famous. She is great」へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、ピアノや習字、ダンス、水泳、縄跳び、マジックなどの特技を話題にすることは興味・関心があるものであり、互いに理解を広げたり深めたりして、人間関係を構築することにつながるものとして魅力があると考えられる。そのため、互いの特技を話題にして、友達や台北教育大学実習生と英語を用いてコミュニケーションを図る活動を設定することは、子どもたちのコミュニケーションへの意欲を高めることに適している。また、簡単な一般動詞や助動詞 can を用いてできることを紹介する英語を身に付けさせることにも適している。

そこで、本単元の展開にあたっては、工夫しながらコミュニケーションを図る必要性に気付かせたり、工夫して伝え合うことのできた達成感を味わわせたりするために、まず、特技を紹介し合うことで、級友や台北教育大学実習生と互いに理解し合い、人間関係を広げたり深めたりするという目的を明確にし、学習内容への知的好奇心を喚起することが大切である。そして、ゲーム活動等を通して必要な英語を身に付け、特技を紹介し合う実際の場面において、自分のことを確かに相手に伝えるとともに、「感想を伝える」「質問をする」ことを観点として、工夫しながらコミュニケーションを図ったり継続したりしようとする態度を養うことが大切である。

具体的にはまず、学習内容への興味・関心を喚起するために、特技を紹介する外国のテレビ番組を視聴する活動を設定する。また、学習への見通しをもたせるために、友達や家族の特技を簡単に紹介し合うことを通して、特技の具体的なイメージを共有させる。さらに、テレビ番組を場面に設定し、音声だけでなく実演をしながら特技を紹介し合うことができることを捉えさせる。

次に、必要な英語を楽しませながら親しませていくために、リズムチャンツやゲーム活動を行う。その際、canを用いた肯定文や疑問文の語順について、日本語との比較を通して日本語と英語の語順の違いに気付かせたり、既習であるlikeを用いた肯定文や疑問文と関係付けさせたりしていく。

さらに、台北教育大学教育実習生と、相手との関係を良くしながら特技を紹介し合う活動を設定する。具体的には、インターネット交流を通して特技を紹介し合い、00互いの理解を深める活動を設定する。紹介し合う活動に向けては、扱う英語や伝え方等を観点とした学び合いを導入し、協働しながら取り組めるようにしていく。

これらの学習を通して、自分の思いや考えを伝えるために必要な英語への見通しをもち、目的達成に向けて他者と協働しながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことがで

きる。また、特技を紹介するためにコミュニケーションを工夫し、互いの思いを理解したり自分の考えを伝えたりするよさを味わうことができるものとする。このような学習を積み重ねることで、他者を尊重し、コミュニケーションを通して相手と理解し合ったり、円満な関係を築いたりすることができるようになる。

(3) 子どもの実態(対象者：6年ろ組33名 数値は延べ人数で、結果は主なもののみ表示)

① 積極的にコミュニケーションを図る態度について	
○ 外国の人などと英語を使って会話をするのは好きか。	
<はい(27)>	
・人と交流するのが楽しい(12)	
・言葉や文化が学べる(8)	
・英語がわかる、できる(4)	
・学んだ英語を使って会話ができるのがうれしい(3)	
<いいえ(6)>	
・苦手(5) ・何を話せばよいか分からない(1)	
② 身に付いた外国語について	
ア 動詞を聞いて理解できるか。	
・ I sing. (33) ・ I swim. (33) ・ I cook. (33)	
・ I play baseball. (33)	
・ I play the piano. (33)	
イ 簡単な動詞を発話することができるか。	
・ I sing. (23) ・ I swim. (16) ・ I cook. (29)	
・ I play baseball. (28)	
・ I play the piano. (24)	
③ 学習・生活経験に関する内容について	
ア 友達などに何かを紹介したり聞いたりするために、どんな工夫をすればよいと思うか。	
紹介するときの工夫	聞くときの工夫
実際に示す(14)	うなずく(9)
はきはきと話す(4)	質問をする(6)
相手にも問いかける(2)	相手の目を見る(5)
ジェスチャーをする(1)	相手に体をむける(1)
その他(12)	その他(12)

本学級の子どもたちの多くが、英語で会話することに好意的である。しかし、「いいえ」と答えている子どももあり、英語を話すことに自信がないことが原因の一つであると考えられる。(①)

本学級の全ての子どもたちが、既習の英語を聞き取って理解することができた。(②ーア)一方、発話することについては、“cook”“play”は約9割の子どもたちが身に付けているものの、“swim”は約5割であり、あまり身に付いていないことが分かった。外来語の知識により、“swimming”を動詞であると捉えていることが原因であると考えられる。(②ーイ)

「紹介するときの工夫」については、実際に見せながら紹介すると伝わりやすいと考えている子どもが約半数いることが分かった。外国語科や他教科での学習、生活経験の中で、視覚に訴えると伝わりやすいことを理解していると考えられる。「聞くときの工夫」については、「うなずく」「相手の目を見る」「相手に体を向ける」等、話を聞く態度に着目している子どもが多いこ

とが分かった。相手意識をもってコミュニケーションを図ることが大切であることに気付いているものの、内容を理解することの大切さには、まだあまり気付くことができていないものとする。(③)

(4) 指導上の留意点

ア 「自分の特技について考えよう」では、本単元の学習内容への興味・関心を喚起するために、外国のテレビ番組を視聴する活動を行った後、特技について話し合う活動を行い、特技とは何かを共有させたり、自分の特技に気付かせたりする。さらに、テレビ番組を場面に設定することで、実演しながら特技を紹介し合ったり、友達と協働したりすることができることを見通させる。

イ 「特技を紹介するテレビ番組を作ろう」では、インタビュアーと紹介者のコミュニケーションを工夫する必要があることに気付かせるために、基本の表現のみを使ったスキットとコミュニケーションを工夫したスキットを比較させる。その際、人間関係をよりよく広げたり深めたりすることが目的であることを明確にすることで、相手の特技を賞賛したり、実演が成功しない時に励ましたりする等の「感想を伝える」や相手理解をするための「質問をする」のコミュニケーションを工夫する観点に気付かせる。

ウ 「台湾の人と特技を紹介し合おう」では、達成感を味わわせるために、学んだことを生かしなが台北教育大学実習生と会話をする場面を設定する。その際、人間関係を広げることが目的であることを共有し、既習事項を活用することができることに気付かせる。インターネット交流後に、台北教育大学実習生に特技の紹介の仕方についての感想を尋ね、学習の成果に気付かせる。

3 目 標

- (1) 自分の特技を ALT や JTE, 友達に伝えようとしたり, 相手の特技を理解しようとしたりする。
- (2) 特技を話題とした実際のコミュニケーションにおいて, 互いへの理解を深めることを目的として, 工夫しながら相手に伝えたり相手を理解したりすることができる。
- (3) ・ 助動詞 can や一般動詞を用いて, できることについて話したり聞いたりすることができる。
・ can を用いた文の日本語と英語の語順の違いや can の意味を体験的に理解することができる。

4 指導計画(全8時間)

思考の高まり	過程	学習課題と主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
特技を紹介するテレビ番組スキットを作るのは面白そうだな。どんな学習をしていけばいいのかな。	意欲をもつ	①Let's Know What to do. - 特技を紹介する外国のテレビ番組①を視聴する。 - 学習のめあてを話し合う。 特技を紹介し合ってお互いのことをもっとよく知り, 仲を広げたり深めたりしよう。 - 必要な英語を話し合う。	○ 単元の学習への興味関心を喚起するために, まず, 特技を紹介する外国のテレビ番組を提示する。そして, 「友達などの特技を知ること, なぜ面白いのだろうか。」と発問し, 新たな一面を知ることができることに気付せながら, 単元のめあてへと焦点化する。
特技を紹介するために必要な英語に慣れてきたよ。これなら, できそうだな。	つかむ	②Let's Play Games. - 特技を紹介する外国のテレビ番組②を視聴する。 - リズムチャンツをする。 - ラインゲームをする。 - 特技を紹介する番組スキットを作る。	○ 必要な英語に慣れ親しませるために, 絵カードを提示して日本語と英語の語順を比較させ, 違いに気付かせたり英語の語順を捉えさせたりする。
もっとスムーズに会話するためにはどんな工夫をすればいいのかな。	挑戦する・広げる	③④Let's Make TV Show Skit.. - JTE と ALT による番組スキットを視聴する。 - インタビューアーと実演者の会話の仕方を考える。 - 紹介し合い, 相互評価をする。 - よりよい伝え方について全体で話し合う。 ⑤Let's Watch TV Show Skit. - できることを紹介し合う。 - 単元を通した自分の高まりを振り返る。	○ スキットでの会話の仕方の工夫を「コミュニケーションの図り方」「使う英語」から見通させるために, 基本表現のみを用いたテレビ番組スキットと自然な対話ができているスキットを提示して比較させる。
友達と協力したから, いい発表ができた。この学習が他の会話の場面でも生かせそうだ。	振り返る・生かす	⑥⑦Let's Prepare To Talk.(本時) - 本単元での学習を生かして, 次時で台湾の教育実習生と特技を紹介し合うことを知る。 - どのように会話すればよいか考える。 ⑧Let's Talk With Taiwanese Interns. - インターネットを用いて台湾の教育実習生とできることを紹介し合う。	○ 特技を話題とした会話の仕方について問題意識を喚起するために, JTE が ALT に対して発表形式で一方向的に特技を紹介するスキットを見せ, やりとりの不自然さに気付かせる。
スキットのとおりに話せば台湾の人にも伝えられるのかな。			○ 単元の学習への達成感を味わわせるために, 台湾の教育実習生に「コミュニケーションの図り方」「英語の使い方」の観点で感想を述べてもらう。

5 本時(6/8)

(1) 目 標

特技を話題として、相手に感想を伝えたり相手に質問したりする工夫をしながら、友達や ALT, JTE, 台北教育大学実習生と英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

(2) 本時の展開に当たって

コミュニケーションの図り方を工夫させるために、まず、台北教育大学実習生(相手)とインターネット交流を通して、良い関係を築く(目的)ことを明確にする。そして、前時までの発表形式から、本時では相手との対話形式に場面が変わることに気付かせる。さらに、グループでの学び合いにおいて、場面の違いを比較することを通して、コミュニケーションを工夫する観点である「感想を伝える」「相手のことを質問をする」を見いださせる。

(3) 実 際

過 程	主 な 学 習 活 動	使用英語・ルール	時 間	教師の具体的な働きかけ
意 欲 を も つ	1 Greeting 2 Watching Video Letter from Taipei 3 Meeting Today's Target 台湾の実習生と楽しくできることを紹介合うためには、どんな会話の工夫ができるのだろうか。	J: Hello. How are you today? T: I'm fine thank you, and you? J: I'm fine, too. Thank you. By the way, Can you play Kendama? T: No, I can't. Can you? J: Yes. I'll show you.	10	○ 学習内容への興味・関心を喚起するために、台北教育大学実習生からのビデオレターを提示する。 ○ コミュニケーションの図り方についての問題意識を喚起するために、まず、インターネット交流を行う相手や目的を確認する。そして、「これまでの学習がそのまま生かせるだろうか」と問い、本時では相手と対話をするための英語が必要であることに気付かせる。
	4 Practice 5 Rhythm Chants だんだん英語が分かってきたよ。僕にもできそうだな。	【基本表現】 I can play baseball/ I can play soccer/ I can play the piano/ I can fly/ I can run/ I can cook/ I can swim/ Can you ~?/ Yes, I can/No, I can't/	10	○ 台北教育大学実習生との英語を用いた対話への意欲を高めるために、リズムチャンツを通して、場面は変わっても既習の英語が使えることを捉えさせる。
つ か む	6 Think how to Prepare for Show and Tell with Taipei's Interns. 学び合いの観点 〈非言語的手段の観点〉 ・ 言葉の抑揚 ・ 表情 〈言語的手段の観点〉 ・ 感想を伝える ・ 相手に質問する	【本時の基本表現】 I can play ~/Can you play ~?/Yes, I can/No, I can't 【賞賛する言葉】 Good/Nice/Very good/ Very nice/Great/Perfect/ Wonderful 【励ます言葉】 Don't worry/Don't give up/ Good try/Nice try	20	○ コミュニケーションを工夫する観点を見いださせるために、本単元でこれまでに学習してきた発表形式と本時での対話形式を、ボードを活用して可視化して比較させる。また、「本時では、視聴している相手とどのようなやりとりをすればよいのだろう」と問い、具体的な会話のイメージを子どもから引き出し、観点到焦点化する。
	7 Let's Chat With Taiwanese Interns. 台北教育大実習生のことが少し分かったよ。自分のこともうまく伝えられた。			○ 本時の学びの有用感を味わわせるために、台北教育大実習生と試しのインターネット交流をする活動を設定する。その際、視聴する児童には、事前に「相手との関係を良くしながら会話ができているか」との観点を示す。
挑 戦 す る ・ 広 げ る	8 Reflection 楽しく紹介し合うためには、相手に自分の感想を伝えたり、質問をして相手のことを知ったりすることが大切だと分かったよ。		5	
	9 Ending			